

六本木クロッシング2010展：芸術は可能か？

明日に挑む日本のアート

2010年3月20日〔土〕－7月4日〔日〕 森美術館（六本木ヒルズ森タワー 53 階）

森美術館は、2010年3月20日（土）から7月4日（日）まで、「六本木クロッシング 2010 展：芸術は可能か？」を開催します。「六本木クロッシング」は、東京の中心、六本木ヒルズ最上層にある森美術館が、日本のアートシーンの“明日”を見渡すべく、多様なジャンルのアーティストやクリエイターを紹介する展覧会として2004年にスタートしました。3年に一度開催され、毎回異なるキュレーターが、複数の視点により独創的な作品を選出。まさに六本木で、その時代を代表する刺激的な作品が「交差」する、定点観測的な展覧会です。

3回目を迎える本展には、長いキャリアを持つアーティストから若手注目株まで20組が参加し、写真、彫刻、インスタレーション、映像、グラフィティ・アート、パフォーマンスなどを紹介します。

金融危機を背景に世界的に将来が見えにくくなっている今日、日本のアートの動向もまた不明瞭ですが、そんな時代にこそ、アートの本質や可能性について考える良いチャンスでもあります。バブル経済崩壊直後に、アーティスト・グループ、ダムタイプの古橋裕二は、同時代的な問題の立て方が困難な1990年代のアートを考え、「芸術は可能か？」という問いを投げかけました。アートがアートの枠の中に留まらず、社会に影響を与えることにより成立する可能性を問う。この簡潔でいて重要な問いは、社会・経済が再び不安定となった今日、また意義深いものです。

「六本木クロッシング 2010 展」は「芸術は可能か？」という古くて新しい問いを出発点に、社会・経済、文化・倫理、環境など現代社会のなかのさまざまな問題を描くアート、閉ざされた個人の内面世界を描くのではなく、他者との協働やジャンルの横断により、新しい可能性を見せるプロジェクト、私たちの日常があるストリートを舞台とする創作活動、そして新しい美学の誕生を予感させる新世代の表現などを通して、シャープでエネルギーに溢れ、力強く明日に挑む日本のアートの「今」を紹介します。

《出品作家》

相川 勝、青山 悟、雨宮庸介、宇治野宗輝、加藤 翼、小金沢健人、contact Gonzo、志賀理江子、鈴木ヒラク、高嶺 格、ダムタイプ、Chim ↑ Pom、照屋勇賢、HITOTZUKI (Kami + Sasu)、森村泰昌、八幡亜樹、横溝 静、米田知子、ログズギャラリー、

主催：森美術館

協賛：パナソニック電気株式会社

協力：フォートン株式会社、シャンパーニュ ニコラ・フィアット、ボンベイ・サファイア、財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト

企画：木ノ下智恵子（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師）、窪田研二（インディペンデント・キュレーター）、近藤健一（森美術館アソシエイト・キュレーター）

会場：森美術館 〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 53 階

開館時間：10:00－22:00 | 火 10:00－17:00 | 5/4（火）は22:00まで開館

* 3/27（土）は「六本木アートナイト 2010」開催に伴い、翌朝6:00まで開館。

* いずれも入館は閉館時間の30分前まで

* 会期中無休

入館料：一般1,500円、学生（高校・大学生）1,000円、子供（4歳～中学生）500円

* 3/27（土）は「六本木アートナイト 2010」開催に伴い、3/27（土）24:00～翌朝6:00までの時間帯は500円。

* 表示料金に消費税込 * 本展のチケットで「MAMプロジェクト011: ジュール・ド・バランクール」展、展望台 東京シティビューにも入館可（スカイデッキを除く）* スカイデッキへは別途料金300円がかかります（子供は無料）。

お問い合わせ：Tel: 03-5777-8600（ハローダイヤル） WWW.MORI.ART.MUSEUM



照屋勇賢《告知一森》2005年 紙袋、糊 18cm×8cm×28cm
ソロモン・R・グッゲンハイム美術館、ニューヨーク

PRESS RELEASE プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：渡邊、瀧、田村、岡崎 Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum
Website: www.mori.art.museum 〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

MORI ART MUSEUM

MORI ARTS CENTER

< 参考図版 >



宇治野宗輝《THE BALLAD OF BACKYARD》2008 年
木製家具、家電機器、ミクスト・メディア サイズ可変 Photo: Koo



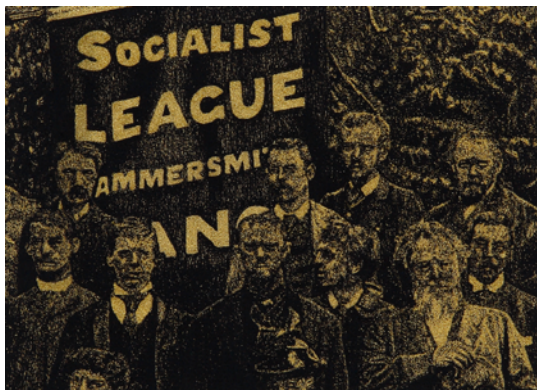
HITOTZUKI (Kami + Sasu) 《P.I.B.》2007 年
ラテックス塗料およびスプレー塗装による壁画 横浜



志賀理江子《角隠し》2007 年 C プリント



contact Gonzo
パフォーマンス風景：『踊りに行くぜ！！ vol.9 in 別府市中心市街地』大分 2008 年
Photo: Toda Yoichi



青山 悟《Glitter Pieces #1》2008 年 ポリエステルにメタリック糸と黒糸で刺繍
17.4×23.2cm 個人蔵 Photo: Miyajima Kei Courtesy: Mizuma Art Gallery, Tokyo

掲載の画像を含む最新のプレス画像は、
森美術館ウェブサイトにて申請いただけます。
WWW.MORI.ART.MUSEUM

クロッシング・プライズ

「六本木クロッシング 2010 展」では、森美術館館長や森美術館理事会メンバーが選考する「MAM 賞」、クロスジャンルで活躍する審査員が選考する「特別賞」のほか、鑑賞者の方に、^{オーディエンス}展覧会を見た後にもっとも印象に残った作家を 1 組選んで投票していただく「オーディエンス賞」^{オーディエンス}を設けます。鑑賞者の感性と作家が提示する作品が「交差」^{クロッシング}しあうことで選出される賞です。

投票場所：森美術館 展示室出口 **投票締め切り：**6 月 8 日（火） **発表：**6 月 13 日（日）

PRESS RELEASE
プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：渡邊、瀧、田村、岡崎 Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum
Website: www.mori.art.museum 〒106-6150 東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

MORI ART MUSEUM

MORI ARTS CENTER

パブリックプログラム

セッション「クロストーク 2010」※日英・手話同時通訳付

本展を企画した3人のキュレーターが展覧会のコンセプトやアーティストの選定、展示作品について語ります。また、《S/N》の出演者ブブ・ド・ラ・マドレーヌ氏とその評論の第一人者である浅田彰氏が、作品をめぐって語ります。

出演：浅田 彰（京都造形芸術大学大学院長）、木ノ下智恵子（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師）、窪田研二（インディペンデント・キュレーター）、ブブ・ド・ラ・マドレーヌ（現代美術作家）、近藤健一（森美術館アソシエイト・キュレーター）

日時：2010年3月27日（土）14：00-17：00

会場：アカデミーヒルズ 40 キャラントB（六本木ヒルズ森タワー 40 階）

※一般のお申し込みは終了しました。

アーティストトーク ※日英逐次通訳付

出演アーティストが自作について語ります。

第1回

出演：照屋勇賢・横溝 静・米田知子

日時：2010年3月20日（土）14：00-16：00

第2回

出演：青山 悟・八幡亜樹・ほか

日時：2010年6月5日（土）14：00-16：00

会場：森美術館展示室内（展覧会入口にお集まりください）

定員：30名（当日先着順）

料金：無料（要展覧会チケット）

トーク&ワークショップ ※日本語のみ

新しい人間関係の海へ——《S/N》が切り拓く対話の可能性——

ダムタイプの出品作品の《S/N》（初演 1994 年）は、1996 年の最終上演後は、再演や DVD 化がされず、現在では「伝説的」で「語りにくい」作品になりつつあります。本プログラムは、上演当時を知らない鑑賞者を対象に、作品に内在する現在に共通したさまざまな課題について考えるプログラムです。《S/N》出演者の一人であるブブ・ド・ラ・マドレーヌ氏をはじめ、さまざまな立場から《S/N》を見続けてきた各氏のトーク後、参加者はグループに分かれて作品と現代社会について話し合います。《S/N》を通してこれからの社会、未来の人間関係を一緒に考えてみませんか。※本プログラムのタイトルは、古橋悌二氏が自身のインスタレーション作品《LOVERS》について語った「新しい人間関係の海へ、勇気をもってダイブする」より引用しています。

出演：ブブ・ド・ラ・マドレーヌ（現代美術作家）、木ノ下智恵子（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師）、窪田研二（インディペンデント・キュレーター）、竹田恵子（早稲田大学演劇博物館グローバル COE 研究員）、藤田淳志（愛知学院大学専任講師、アメリカ文学者）、山田創平（京都精華大学専任講師、都市社会学者）、近藤健一（森美術館アソシエイト・キュレーター）

日時：2010年5月11日（火）19：00-21：30

会場：森美術館展示室内

対象：20歳以上

定員：40名（要予約）

料金：一般 1,000円 MAMC メンバー 500円

お申し込み：森美術館ウェブサイト

*参加される方は「六本木クロッシング 2010 展」に展示される《S/N》（映像作品 75 分）をワークショップ開催当日までにご鑑賞ください。

そのほか、レクチャーやキュレーターによるギャラリートーク、ファミリープログラム、アクセスプログラム、学校プログラムなども予定しています。詳しくはお問い合わせください。

パブリックプログラムに関するお問い合わせ

森美術館学芸部パブリックプログラム Tel:03-6406-6101 Fax: 03-6406-9351 E-mail: ppevent-mam@mori.co.jp

展覧会カタログ

「六本木クロッシング 2010 展：芸術は可能か？」

執筆者：木ノ下智恵子（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師）、窪田研二（インディペンデント・キュレーター）、近藤健一（森美術館アソシエイト・キュレーター）

サイズ・ページ数：B5 変形 178 頁 言語：日英バイリンガル 価格：2,520円（税込）

企画・発行：森美術館 制作：美術出版社

発売：3月20日（土）よりミュージアムショップ（3F、52F、53F）にて

※会場展示風景を追加した一般流通書籍（発行：美術出版社、予価：2,625円（税込））は4月下旬より販売予定



六本木クロッシング 2010 展 オリジナルグッズ

■ T シャツ

全2種（ホワイト・ブラック）販売価格未定 ※3/20（土）発売

絵柄：展覧会ビジュアルをモチーフにしたデザイン

販売場所：森アーツセンターミュージアムショップ 53F 03-6406-6270

■ 缶バッジ

第1弾・全9種 315円（税込・予価）※発売日未定

絵柄：相川勝・青山悟・小金沢健人・森村泰昌・ログズギャラリー・八幡亜樹・加藤翼・宇治野宗輝・HITOTZUKI [KAMI+SASU]

販売場所：森アーツセンターミュージアムショップ 53F 03-6406-6270



PRESS RELEASE プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：渡邊、瀧、田村、岡崎 Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum
Website: www.mori.art.museum 〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

MORI ART MUSEUM

MORI ARTS CENTER

関連情報

「RX2010 展」限定スペシャルドリンク「エネルギー」

「六本木クロッシング 2010 展」アーティストたちが作品を通して発する、フレッシュで、力強いエネルギーを表現したオリジナルドリンク。カロリー豊富なバナナ、栄養価の高さで注目のアサイベリーを使用した、滋養たっぷりのスムージー。『エネルギー』をチャージして、今日も、元気満ち、前向きな一日を！

場所：サンセットカフェ（六本木ヒルズ森タワー 52 階 展望台 東京シティビュー内）

販売期間：2010 年 3 月 20 日（土）～ 7 月 4 日（日）

価格：R サイズ 650 円（税込）／L サイズ 750 円（税込）



「六本木アートナイト 2010」

昨年 3 月 28 日（土）日没から 29 日（日）早朝を中心に開催され、延べ 55 万人にも及ぶ来街者が六本木の街と非日常空間でのアートを楽しんだ「六本木アートナイト」。今年も東京文化発信プロジェクトの一環として、2010 年 3 月に再び開催します。

日時：コアタイム 2010 年 3 月 27 日（土）日没～ 3 月 28 日（日）日の出

※コアタイム＝全体の開催時間中でメインとなるインスタレーションやイベントが集積する時間帯

※上記コアタイムの前後の日程時間についてはプログラムの詳細確定後決定

開催場所：六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館、サントリー美術館、森美術館、21_21 DESIGN SIGHT、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

主催：東京都、東京文化発信プロジェクト室（財団法人東京都歴史文化財団）、六本木アートナイト実行委員会〔国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合〕（五十首順）

「六本木アートナイト 2010」森美術館プログラム

「六本木アートナイト 2010」開催に伴い、森美術館は 3/27（土）は翌朝 6：00 まで開館し、3/27（土）24：00～翌朝 6：00 までの時間帯は、入館料を 500 円とします。また、「六本木クロッシング 2010 展」に出品しているアーティストもライブ・ペインティングやパフォーマンスを実施します。

鈴木ヒラク + Shing02 によるパフォーマンスとライブ・ペインティング

参加アーティストの鈴木ヒラクと、カリフォルニアと東京を拠点として精力的に活動を繰り広げる日本人リリシスト／プロデューサーの Shing02 が共演。これまでも二人は、金沢 21 世紀美術館でのパフォーマンスや、Shing02 の CD ジャケットなど、さまざまなコラボレーションを続けています。反射板を多数使用し鮮烈な新作インスタレーションを展示する鈴木が、本プログラムでは Shing02 の MC パフォーマンスに合わせて、ライブ・ペインティングを行います。

出演：鈴木ヒラク、Shing02（MC）

日時：2010 年 3 月 27 日（土）23:00～

会場：森美術館展示室内（直接会場にお集まりください）

料金：無料（要観覧チケット）

宇治野宗輝 + contact Gonzo によるパフォーマンス

参加アーティストの宇治野宗輝と contact Gonzo が一夜限りの夢の共演を行います。宇治野は家電製品や自動車、家具、中古レコードなどを組み合わせたサウンド・スカルプチャー《The Rotators》で知られています。一方、大阪を拠点に活動を行うユニット contact Gonzo は、一見殴り合いの喧嘩と見間違えるような即興的なパフォーマンスで、近年世界各地で注目を集めています。今回は、宇治野が展示する The Rotators プロジェクトの最新作を使ってライブを行い、それに合わせて contact Gonzo が新作パフォーマンスを披露します。

出演：宇治野宗輝、contact Gonzo

日時：2010 年 3 月 28 日（日）AM1:00～

会場：森美術館展示室内（直接会場にお集まりください）

料金：無料（要観覧チケット）

「六本木アートナイト 2010」に関するお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会プロモーション事務局 株式会社サニーサイドアップ

E-mail: r-artnight@ssu.co.jp Tel: 03-6894-3200 Fax: 03-8413-3050

PRESS RELEASE
プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：渡邊、瀧、田村、岡崎 Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum
Website: www.mori.art.museum 〒106-6150 東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

MORI ART MUSEUM

MORI ARTS CENTER